
2) 保全の方法（作成例 3-2）



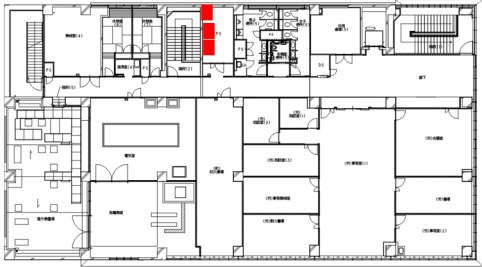
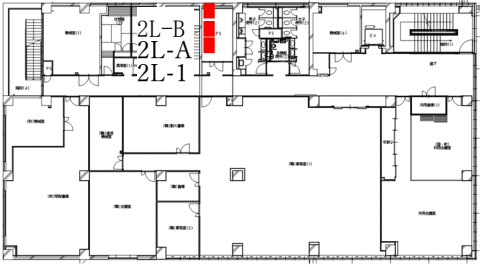
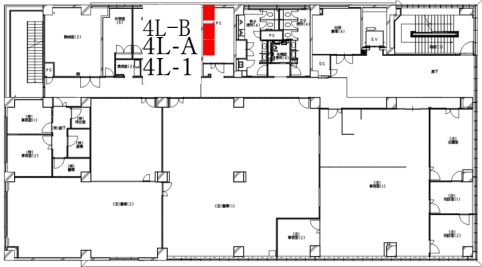
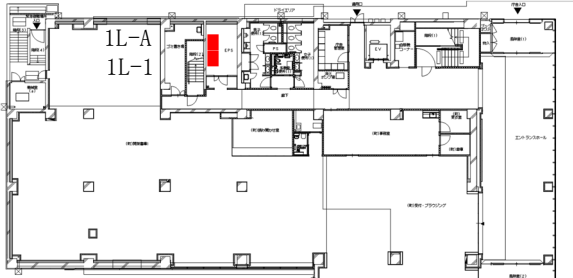
②（電気）目次

- E-1_分電盤
- E-2_照明制御装置（照明制御盤）
- E-3_照明制御装置（明るさセンサ）
- E-4_照明制御装置（人感センサ）
- E-5_照明器具
- E-6_コンセント
- E-7_制御盤
- E-8_電気自動車用充電装置（充電用コンセント）
- E-9_雷保護設備（避雷針）
- E-10_受変電設備
- E-11_直流電源装置
- E-12_交流無停電電源装置
- E-13_発電装置
- E-14_太陽光発電装置
- E-15_構内交換装置
- E-16_時刻表示装置
- E-17_映像音響装置
- E-18_拡声設備
- E-19_誘導支援装置（トイレ等呼出装置・インターホン装置）
- E-20_テレビ共同受信設備
- E-21_監視カメラ装置
- E-22_防犯・入退室管理装置（機械警備）
- E-23_自動火災報知装置
- E-24_自動閉鎖装置（防火戸・防火シャッター用）
- E-25_屋外（ハンドホール）
- E-26_屋外（接地・地中埋設標）
- E-27_屋外（屋外用照明器具）
- E-28_屋外（地中線用引込開閉器（UGS））
- E-29_屋外（駐車場管制装置）

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-1	分電盤	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内の照明、コンセント、その他機器に電源を供給するための設備です。 ・電灯機器に異常が発生した場合、又は容量を超えて使用した場合、幹線を保護するために分電盤内のブレーカで電気の供給を遮断します。 ・感電事故の原因、いたずら防止のため分電盤扉は必ず施錠し、容易に第三者が操作することのないように管理してください。 ・ブレーカを通常の入/切には使用しないでください。 ・点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：1回/1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤の電気供給エリアの照明器具、コンセントが使いえなくなっている場合は、主幹ブレーカが落ちた（トリップした）可能性があります。部分的に使いえなくなっている場合は分岐ブレーカがトリップした可能性があります。いずれの場合も、電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼し、原因特定後に復電を行ってください。 ・ブレーカから異常な音や焼き焦げた臭いがする場合は、ブレーカの故障と考えられます。直ちに電源を切った後、電気主任技術者や点検業者等に調査、修理を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		



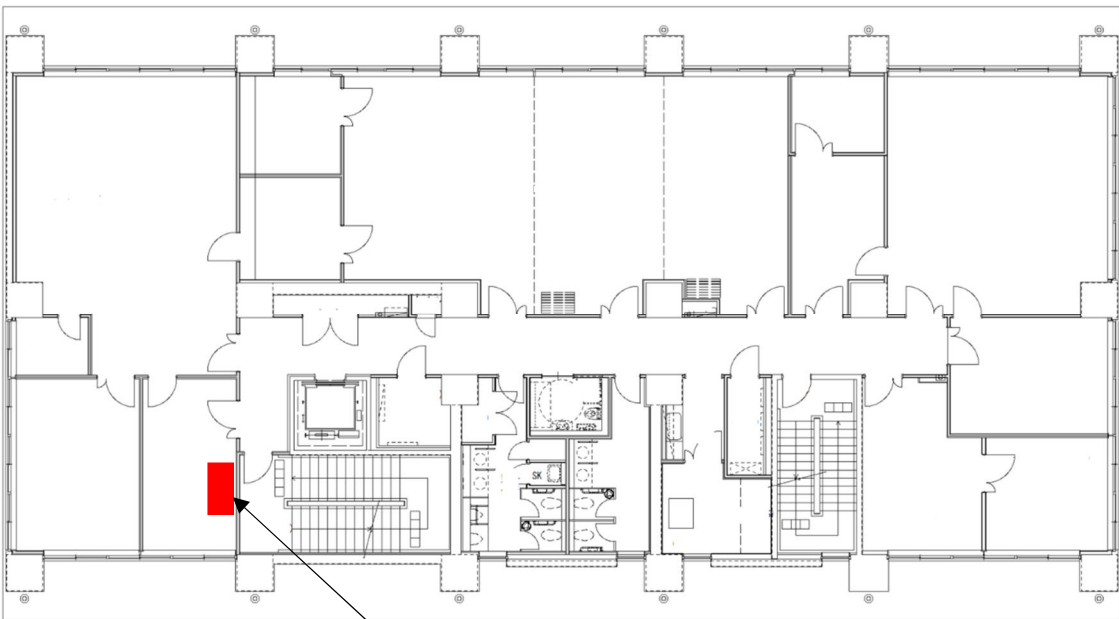
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-1</p>	<p>分電盤</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>分電盤</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>3L-A 3L-1</p>  <p>3 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>5L-B 5L-A 5L-1</p>  <p>5 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>2L-B 2L-A 2L-1</p>  <p>2 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>4L-B 4L-A 4L-1</p>  <p>4 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>1L-A 1L-1</p>  <p>1 階平面図</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-2	照明制御装置（照明制御盤）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地側でのスイッチの他、合庁管理室総合盤面の液晶タッチスイッチより遠隔で点灯・消灯が可能です。（リモコンリレーに接続されている回路に限ります。） ・ 外灯は、照明制御盤によりスケジュール制御を行っています。 ・ 事務室内は明るさセンサにより初期照度補正、昼光制御を行っています。 ・ 発電装置の運転時には、発電機回路の保安用照明が点灯します。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.2.2「分電盤・開閉器箱・照明制御盤」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明制御の動作不良、センサ動作不良 → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ センサ動作不良（調光制御不良）は、照明制御盤表示部におけるトレンドグラフで判断できます。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		


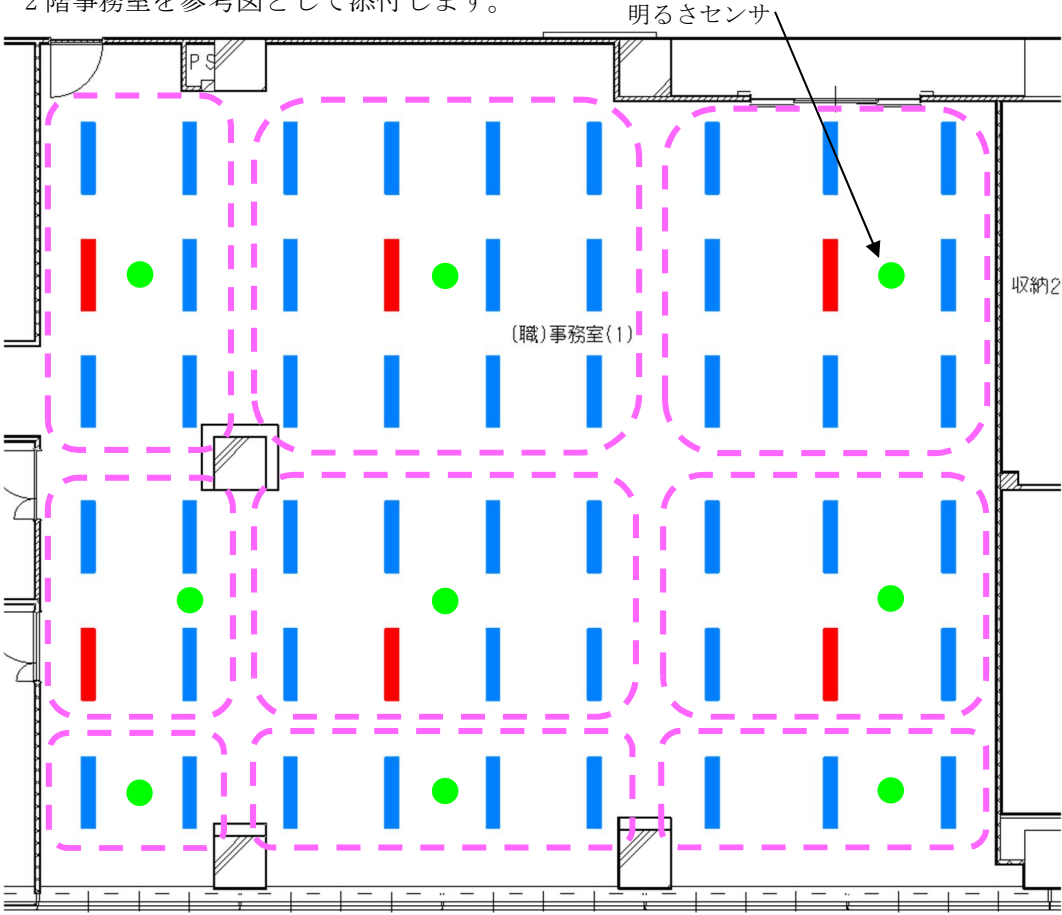
2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-2</p>	<p>照明制御装置（照明制御盤）</p>	<p>部門 □建築 ■電気 □機械</p>
<p>■保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>照明制御盤</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>壁スイッチ</p> </div> </div>		
<p>■保全対象の場所（図面等）</p> <p>※照明制御盤位置を示す。照明制御センサ、スイッチは各所に設置。</p> <div style="text-align: center;">  <p>照明制御盤（液晶タッチスイッチ）</p> <p>3階平面図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-3	照明制御装置（明るさセンサ）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・明るさセンサは設定された明るさを維持するため外光や LED の光束低下に合わせて照明器具の明るさを調整する機器です。 ・1階～5階までの各事務室に対して初期照度補正、昼光制御等の照明制御を行っています。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・損傷・点灯しない <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に修理を依頼してください。 ・調光不良 <ul style="list-style-type: none"> → センサが不良か、照明器具が不良の場合もあります。 専門業者に調査を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		


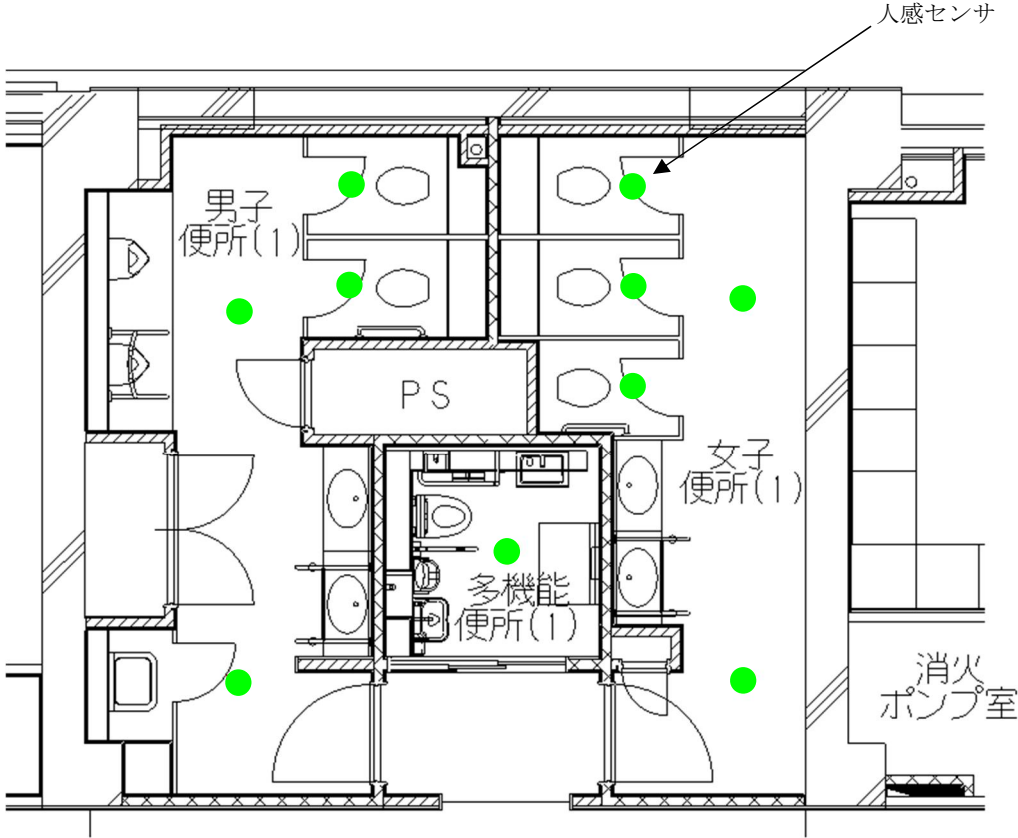
2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-3</p>	<p>照明制御装置（明るさセンサ）</p>	<p>部門 □建築 ■電気 □機械</p>
<p>■保全対象（写真）</p> <div style="text-align: center;">  <p>明るさセンサ</p> </div>		
<p>■保全対象の場所（図面等）</p> <p>※ 1階～5階までの各事務室に対して照明制御を行っています。 2階事務室を参考図として添付します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>2階事務室（参考）</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-4	照明制御装置（人感センサ）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・人が近づくと自動的に照明器具を ON、OFF します。動作保持時間は 3 分で設定しています。設定はセンサ内部のディップスイッチで行います。 ・動作保持時間は各センサにて 5 秒～30 分まで設定可能です。 ・防水仕様ではありませんので、清掃時に直接水をかけると故障の原因となるので注意してください。 ・各トイレに設置しています。 		
②定期点検等周期 <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・損傷 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に修理を依頼してください。 ・点灯しない <ul style="list-style-type: none"> → センサが不良か、照明器具が不良の場合もあります。専門業者に調査を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） <ul style="list-style-type: none"> なお、センサ部分は、人を適切に感知するように向きが調整されています。清掃時には動かさないよう注意してください。 		



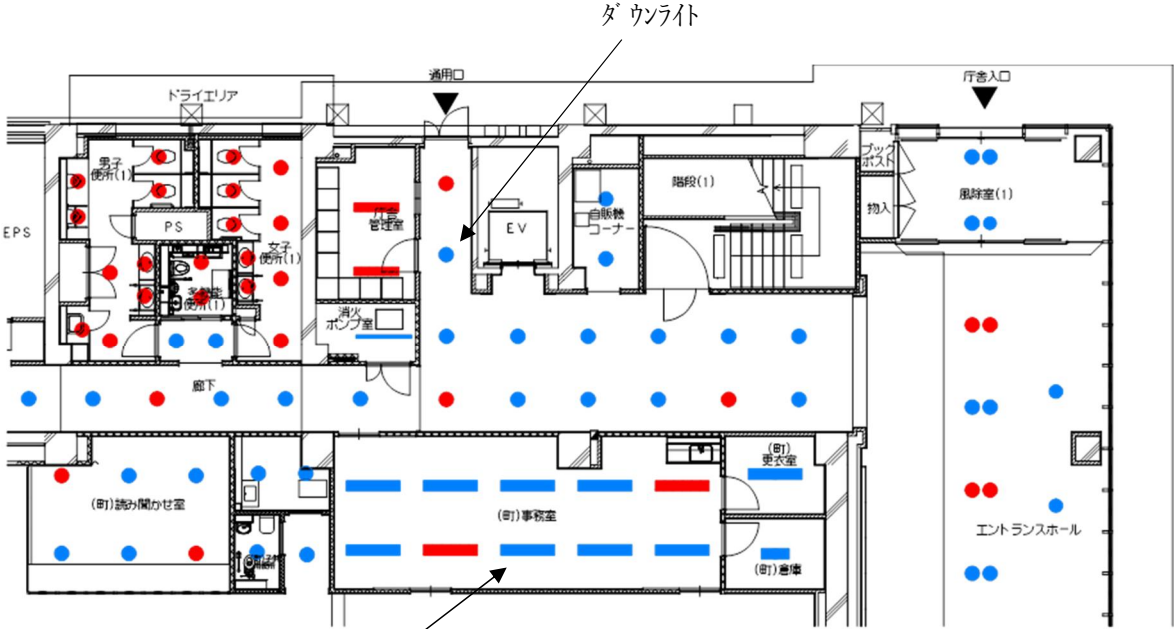
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-4	照明制御装置 (人感センサ)	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>人感センサ</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <p>※ 1階～5階までの各トイレ照明に対して制御を行っています。 1階トイレを参考図として添付しています。</p> <div style="text-align: center;">  <p>1階トイレ</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-5	照明器具	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 ・ 照明器具には高効率で消費電力を大幅に抑えることができる LED を使用しています。		
②定期点検等周期 □法定点検等周期 ・ 点検：1 回／3 年（建基則第 5 条の 2） なお、非常照明器具の場合、これに加え 1 回／1 年（建基則第 6 条の 2） ・ 確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） □共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 ・ 第 2 編第 3 章 3. 2. 1 「照明器具」、第 2 編第 6 章 6. 3. 2 「非常用照明装置」		
③点検等の作業項目及び作業内容 ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3. 2. 1 「照明器具」、第 2 編第 6 章 6. 3. 2 「非常用照明装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 ・ 点灯しない → 電源が入っていない（スイッチがオフ又はブレーカが落ちている。）かを確認してください。電源が入っていない場合、電源を入れてください。 それでも点灯しない場合、専門業者へ調査・修理を依頼してください。 ・ 明るさの低下 → いつもの明るさに点灯しない場合は、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ ブレーカが落ちる → 照明器具に発煙、損傷、水損がある場合は、専門業者へ修理を依頼してください。 → ブレーカを再投入しても落ちる場合は、専門業者へ調査を依頼してください。		
⑤関連図書等 ・ 完成図 ・ 取扱説明書		
⑥清掃周期と清掃方法 ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の清掃周期及び清掃方法を参照ください。 （共通仕様書第 4 編第 2 章 2. 2. 1 「玄関ホール」 から 2. 2. 11 「ごみ集積所」 まで）		

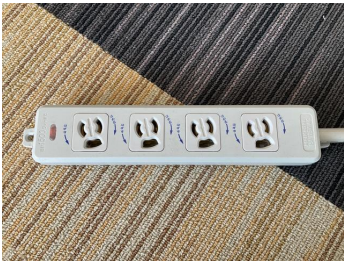
2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-5	照明器具	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>埋込型</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ダウンライト</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <p>※ 1階平面図の事務室と廊下を参考図として添付しています。</p> <div style="text-align: center;">  <p>ダウンライト</p> <p>埋込型</p> <p>1階平面図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-6	コンセント	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> 本建物には壁付コンセントの他に、OA フロア内は配線器具を介して OA フロアコンセントを設けています。 コンセントは防水仕様ではありませんので、清掃時に直接水をかけると漏電、火災の原因となるので注意してください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> 点検：なし 確認：1回/1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> 損傷 <ul style="list-style-type: none"> → その回路のブレーカを OFF にして、専門業者に調査、修理を依頼してください。 分電盤は各 EPS 内にあります。 注) 分電盤内ブレーカを OFF にするまで近づかないでください。 ブレーカが落ちる場合 <ul style="list-style-type: none"> → 接続機器の確認。 容量オーバーでないか。 (接続機器が多すぎる場合は機器を外して再投入。) 接続機器が発煙、損傷、水損していないか。 (異常機器を外して再投入。) 再度、ブレーカが作動する場合は専門業者へ調査を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		


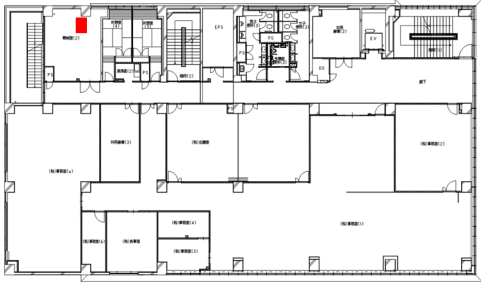
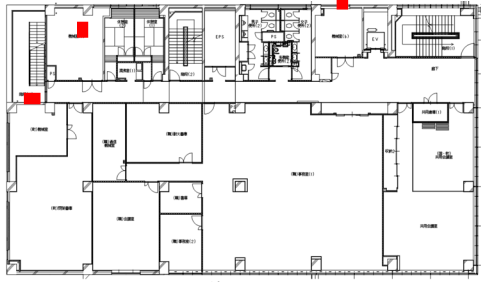
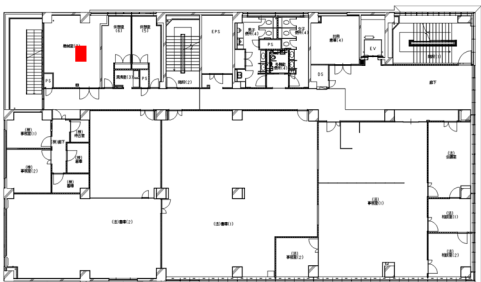
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-6</p>	<p>コンセント</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>コンセント (赤は発電機回路)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>0A タップコンセント</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>0A フロア内配線器具</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <p>※ 1階平面図を参考図として添付しています (赤: 発電機回路、青: 一般回路)。</p> <div style="text-align: center;">  </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-7	制御盤	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内の空調機、ポンプ、その他機器に電源を供給・制御するための設備です。 ・動力機器に異常が発生した場合、又は容量を超えて使用した場合、幹線を保護するために制御盤内のブレーカで電気の供給をストップします。 ・感電事故の原因、いたずら防止のため制御盤扉は必ず施錠し、容易に第三者が操作することのないように管理してください。 ・ブレーカは通常の入/切に使用しないでください。 ・点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：1回/1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章3.2.4「制御盤」 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.2.4「制御盤」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御盤の一括警報は中央監視盤に信号を移報します。中央監視盤ではどの盤で故障が生じたか分かります。 ・分岐回路ごとの異常は中央監視盤に信号の移報は行っていません。過負荷、過電流、漏電によりブレーカ等が落ちる（トリップ）などしたものと考えられます。電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼し、原因特定後に復電を行ってください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-7	制御盤	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
■ 保全対象 (写真)		
 <p data-bbox="295 752 478 786">制御盤 (屋内)</p>		 <p data-bbox="900 757 1083 790">制御盤 (屋外)</p>
■ 保全対象の場所 (図面等)		
<p data-bbox="319 920 371 947">3P-A</p>  <p data-bbox="443 1234 564 1261">3階平面図</p>	<p data-bbox="1091 907 1370 934">PR-A・PR-B・PR-C・PR-D</p>  <p data-bbox="1046 1227 1168 1254">R階平面図</p>	
<p data-bbox="316 1249 368 1276">2P-A</p> <p data-bbox="587 1249 639 1276">2P-1</p> <p data-bbox="209 1355 261 1382">2P-B</p>  <p data-bbox="451 1556 572 1583">2階平面図</p>	<p data-bbox="815 1288 868 1314">5P-B</p> <p data-bbox="815 1319 868 1346">5P-1</p> <p data-bbox="815 1384 868 1411">5P-2</p> <p data-bbox="815 1415 868 1442">5P-A</p>  <p data-bbox="1053 1568 1174 1594">5階平面図</p>	
<p data-bbox="209 1691 261 1718">1P-1</p>  <p data-bbox="435 1917 557 1944">1階平面図</p>	<p data-bbox="927 1597 979 1624">4P-A</p>  <p data-bbox="1043 1917 1165 1944">4階平面図</p>	

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-8	電気自動車用充電装置（充電用コンセント）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 階防災倉庫に電気自動車充電用コンセントを設置しています ・ 充電する場合は専用の充電用ケーブルを使用してください。 ・ 周辺での引火物の使用・保管は、引火する危険があるので絶対にしないでください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 異常がある場合 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者に調査，補修を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		


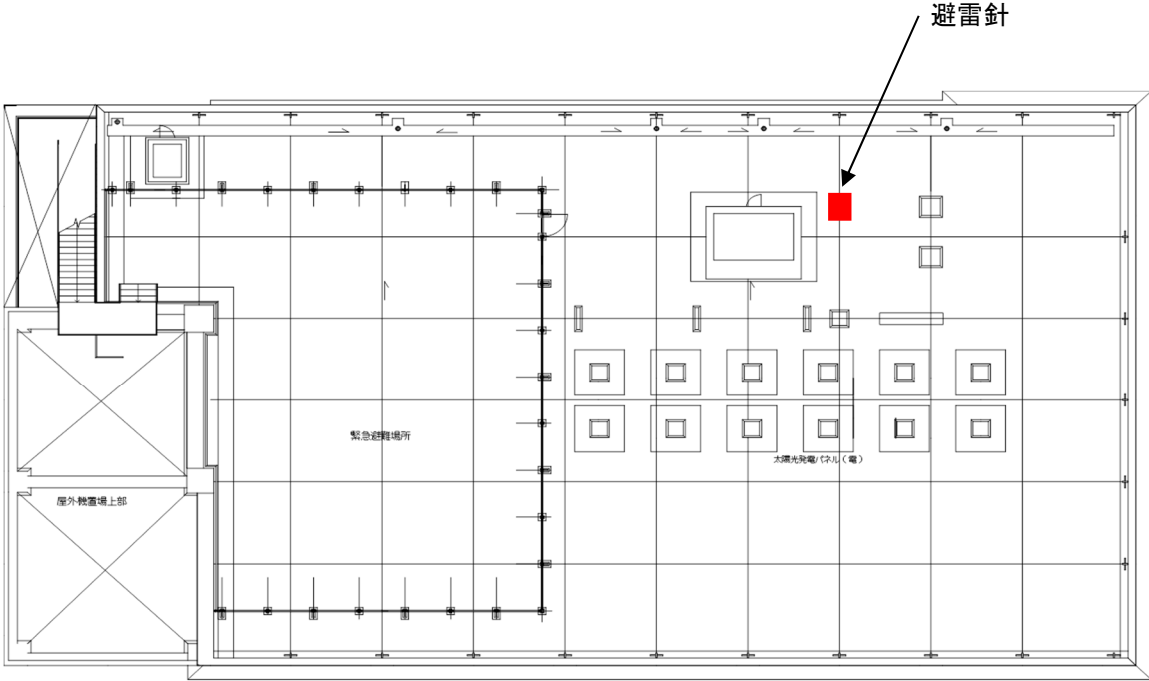
2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-8	電気自動車用充電装置（充電用コンセント）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
■保全対象（写真）  <p data-bbox="619 891 992 922">電気自動車充電用コンセント</p>		
■保全対象の場所（図面等）  <p data-bbox="236 1451 603 1482">電気自動車用充電コンセント</p> <p data-bbox="730 1854 865 1886">1階平面図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-9	雷保護設備（避雷針）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 ・ 落雷から建物を保護するための設備です。		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・ 点検：1回／3年（建基則第5条の2） ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・ 第2編第3章3.12.1「雷保護」		
③点検等の作業項目及び作業内容 ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.12.1「雷保護」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 ・ 損傷、錆の発生 → 専門業者に調査、修理を依頼してください。		
⑤関連図書等 ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書		
⑥清掃周期と清掃方法 ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。）		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-9</p>	<p>雷保護設備（避雷針）</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="text-align: center;">  <p>避雷針</p> <p>避雷針</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: center;">  <p>避雷針</p> <p>緊急避難場所</p> <p>屋外機置場上部</p> <p>太陽光発電パネル（電）</p> <p>R階平面図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-10	受変電設備	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力会社から高圧受電した電圧を 100V、200V に変電する設備です。 容量を超えて使用した場合、幹線を保護するために受変電設備内のブレーカで電気の供給をストップします。 電気室へは、電気主任技術者に許可を取り入室してください。 点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <p>第 2 編第 3 章 3. 3. 1 「配電盤等（内部機器を除く）」から 3. 3. 12 「低圧開閉器類」</p>		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3. 3. 1 「配電盤等（内部機器を除く）」から 3. 3. 12 「低圧開閉器類」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 本建物のみ停電 → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 周辺地区も停電 → 電力会社からの供給再開を待ちます。 懐中電灯の確保を行ってください。 電力会社から供給再開すれば自動復旧します。 受変電設備の警報（遮断器 OFF、温度異常、ヒューズ断など）を中央監視盤に移報します。 中央監視盤でどの盤で故障が生じたか分かります。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-10	受変電設備	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
----------------	-------	--

■ 保全対象（写真）

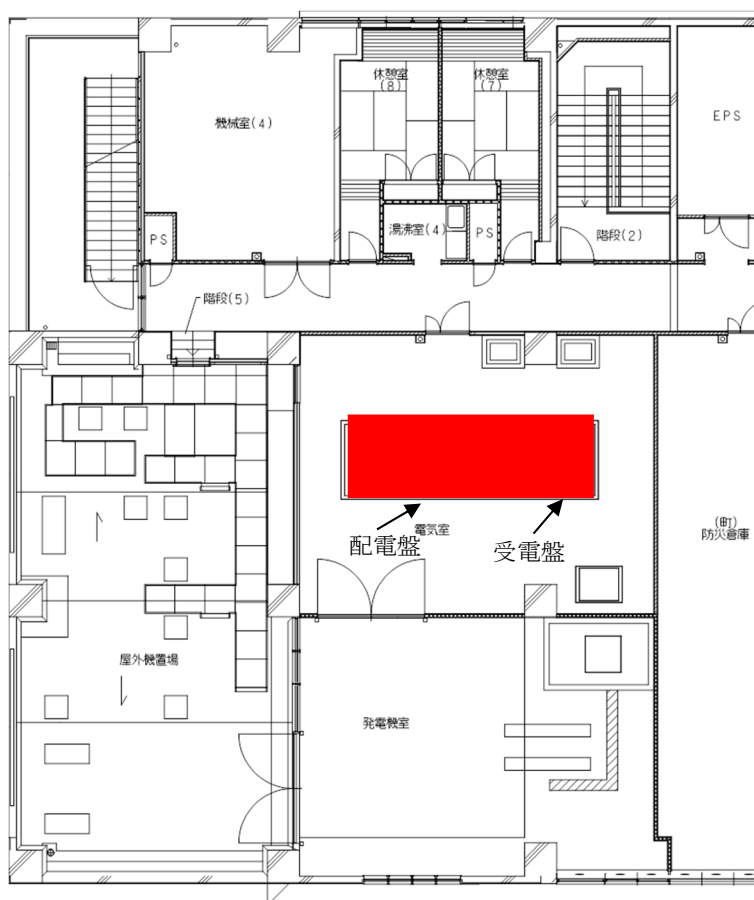


受電盤



配電盤

■ 保全対象の場所（図面等）



5階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-11	直流電源装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・鉛蓄電池を盤内に納めています。 ・電気室内に設置していますので電気室温度に注意してください。 ・用途は非常照明・受変電設備制御用です。 ・点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） 保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 第2編第3章3.5.1「共通事項」、第2編第3章3.5.2「整流装置」及び 第2編第3章3.5.3「蓄電池」		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.5.1「共通事項」、第2編第3章3.5.2「整流装置」及び第2編第3章3.5.3「蓄電池」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・直流電源設備（蓄電池設備）の警報を中央監視盤に移報します。 ・機器の損傷、変色、うなりなど機器の異常が生じた場合は、電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-11</p>	<p>直流電源装置</p>	<p>部門 □建築 ■電気 □機械</p>
<p>■保全対象 (写真)</p> <div style="text-align: center;">  <p>直流電源装置 (蓄電池盤)</p> </div>		
<p>■保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="text-align: center;">  <p>5階平面図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-12	交流無停電電源装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・用途は、各種弱電機器用です。 ・蓄電池盤内には鉛蓄電池が収納されています。 ・UPS 設備の推奨環境温度は 25℃です。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：なし <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 編第 3 章 3.6.2 「交流無停電電源装置（UPS）（簡易形を除く）」 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3.6.2 「交流無停電電源装置（UPS）（簡易形を除く）」）。 ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・機器の損傷、変色、うなりなど機器の異常が生じた場合は、電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・故障警報を中央監視に移報します。中央監視でどのような故障が生じたかを確認できます。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-12	交流無停電電源装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
■ 保全対象 (写真)  <p data-bbox="628 1077 919 1111">2 階 無停電電源無装置盤</p>		
■ 保全対象の場所 (図面等) <p data-bbox="225 1341 1321 1424">* 本作成例では明示していませんが、平面図等に無停電電源装置の設置場所を記載してください。</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-13	発電装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商用電源が停電した場合、自動で発電装置が始動します。 ・ 発電装置運転時、煙道部が高温になるため注意してください。 ・ 発電機室へは、電気主任技術者の許可を取り入室してください。 ・ 停電時の運転時間確保のため、主燃料タンク、燃料小出タンク内の油量が一定量以下になった場合、補充をしてください。 ・ 点検の結果は、点検表に記録して保管してください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：1回/1年（建基則第6条の2） 機器点検：1回/6か月、総合点検：1回/1年（消防法 平成16年消防庁告示第9号） 保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・ 確認：1回/1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） ※確認：排煙設備の非常用電源で該当する場合 1回/6か月 <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.4.1「自家発電装置」 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.4.1「自家発電装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発電装置のうなり、損傷など→ 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ 停電時に発電装置始動しない→ 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ 漏油、ポンプが始動しない → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ 発電装置の警報（重故障、軽故障）を中央監視盤に移報します。内容を確認の上、電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-13	発電装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
----------------	------	--

■ 保全対象 (写真)

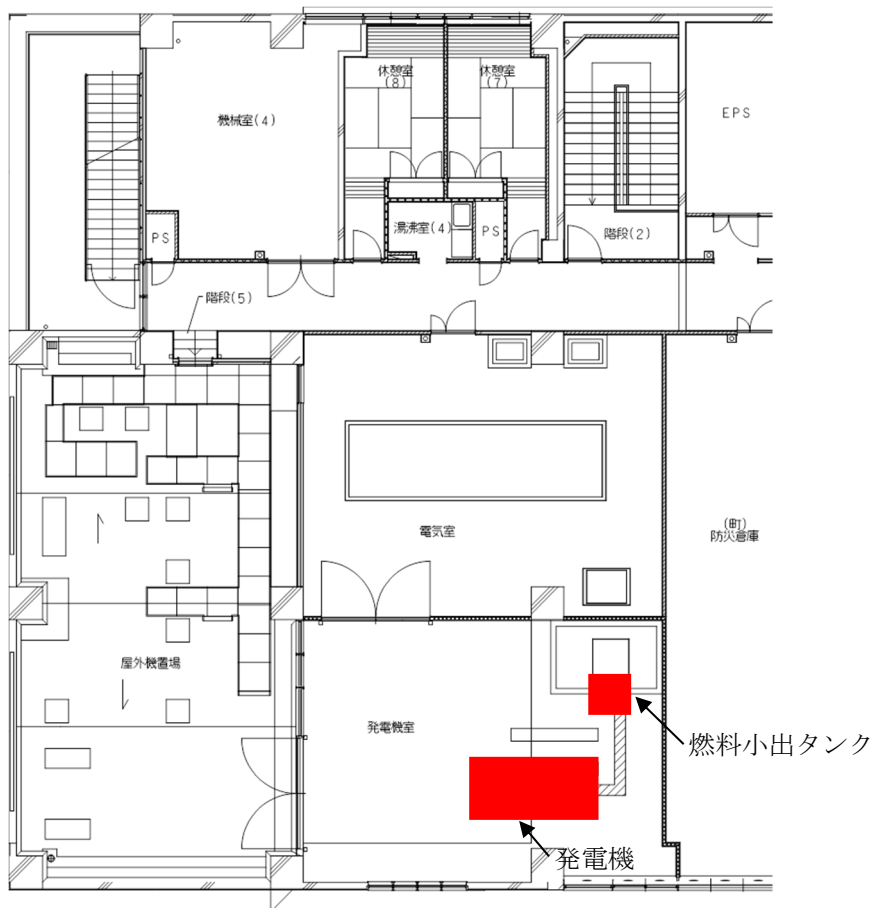


発電機



燃料小出タンク

■ 保全対象の場所 (図面等)





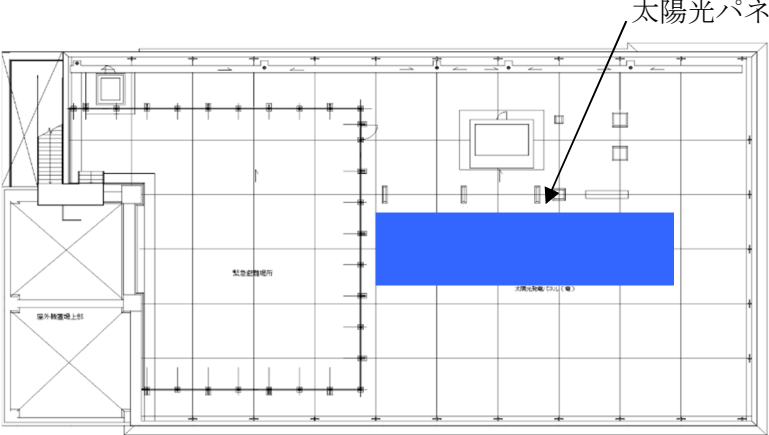
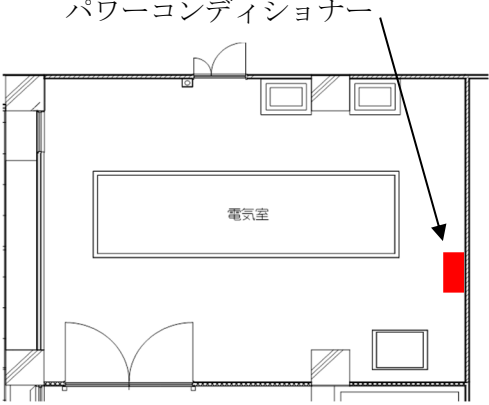
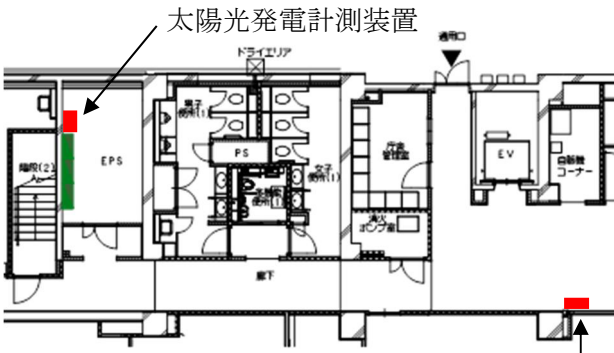


5 階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-14	太陽光発電装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上に太陽光パネル 10kW×1 台を設置しています。 ・ 電気室にパワーコンディショナー×1 台を設置しています。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・ 確認：1 回／1 年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 編第 3 章 3. 7. 1 「太陽光発電装置」 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3. 7. 1 「太陽光発電装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護装置が稼働しない。インバータの異音、異臭の発生、パネルの傷、焼損痕の発生 → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。（パネルに破損が生じた場合は、感電に注意してください）。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		



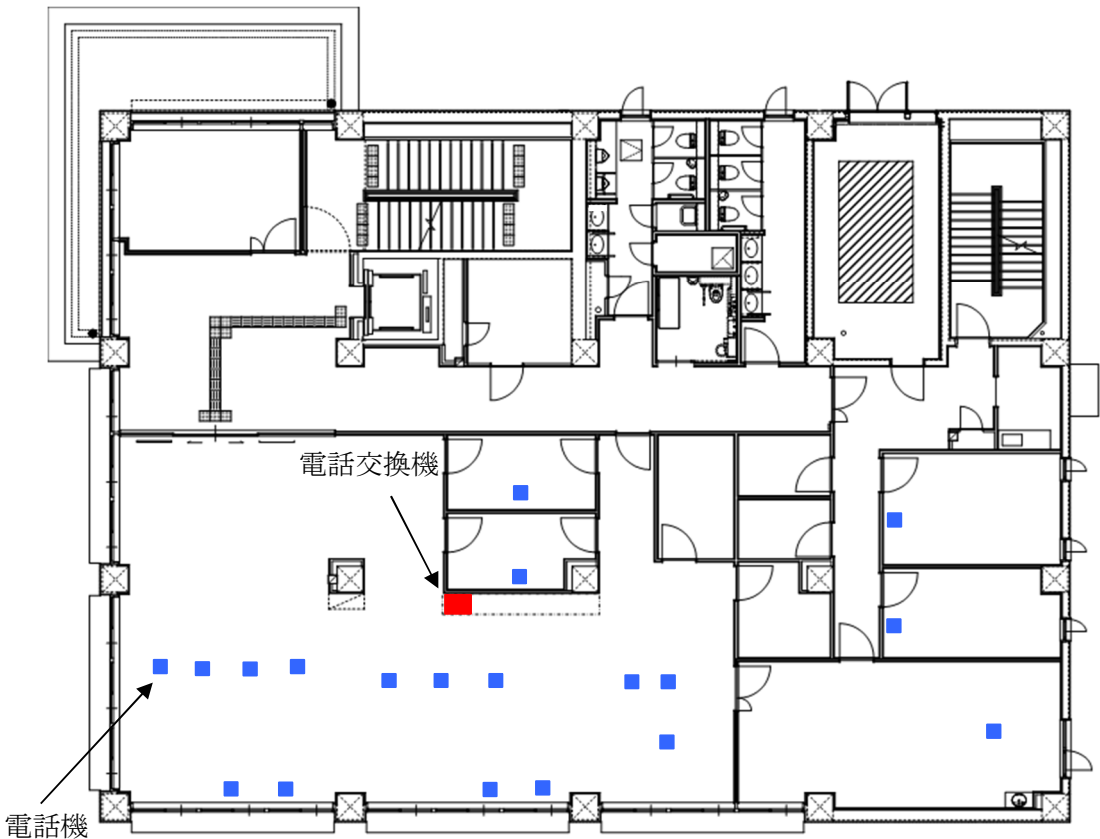
2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-14</p>	<p>太陽光発電装置</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="244 465 703 801">  <p>太陽光パネル</p> </div> <div data-bbox="767 421 1023 607">  <p>太陽光発電計測装置</p> </div> <div data-bbox="767 674 1023 860">  <p>パワーコンディショナー</p> </div> <div data-bbox="1086 674 1342 860">  <p>太陽光発電表示装置</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="411 1010 1182 1442">  <p>R 階平面図</p> </div> <div data-bbox="240 1532 730 1935">  <p>5 階平面図</p> </div> <div data-bbox="778 1532 1401 1883">  <p>1 階平面図</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-15	構内交換装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 構内交換機は、電話サービスを受けるため設置しています。 ・ 停電したときは、停電対応用のバッテリーが内蔵されているため、30分間程度は電話機が使用できます。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.9.2「構内交換装置」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.2「構内交換装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 呼出し、通話ができない → 専門業者に修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-15</p>	<p>構内交換装置</p>	<p>部門 □建築 ■電気 □機械</p>
<p>■保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>電話交換機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電話機</p> </div> </div>		
<p>■保全対象の場所（図面等）</p> <p>※ 2階平面図を参考図として添付しています。</p> <div style="text-align: center;">  <p>2階平面図</p> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-16	時刻表示装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 ・ 庁舎管理室に親時計を設置して、各所に子時計を設置しています。		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・ 第2編第3章 3.9.6「情報表示装置（マルチサイン装置、出退表示装置、時刻表示装置）」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章 3.9.6「情報表示装置（マルチサイン装置、出退表示装置、時刻表示装置）」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 ・ 指示誤差の調整 → 親時計で調整してください。 ・ 指示誤差が直らない、その他の故障 → 専門業者に修理を依頼してください。		
⑤関連図書等 ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書		
⑥清掃周期と清掃方法 ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。）		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-16	時刻表示装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
----------------	--------	--

■ 保全対象 (写真)

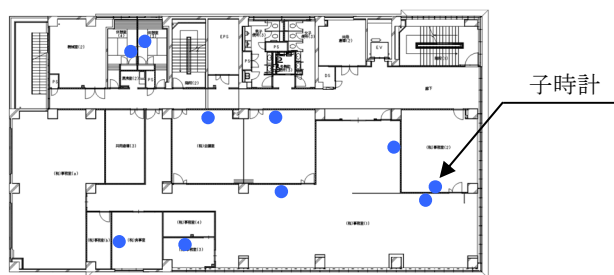


親時計



子時計

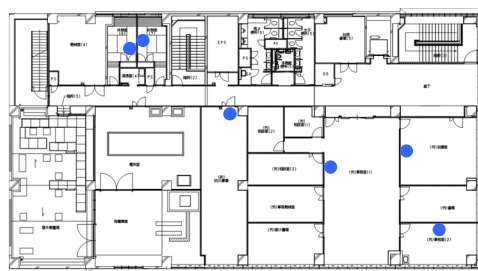
■ 保全対象の場所 (図面等)



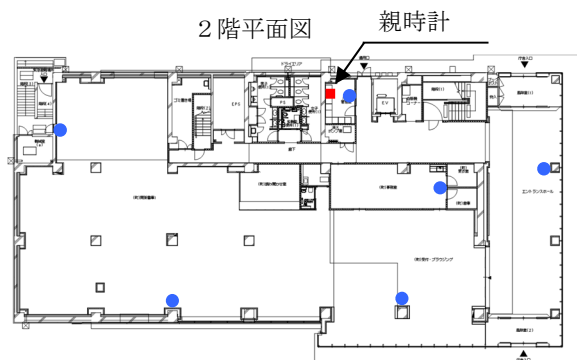
3 階平面図



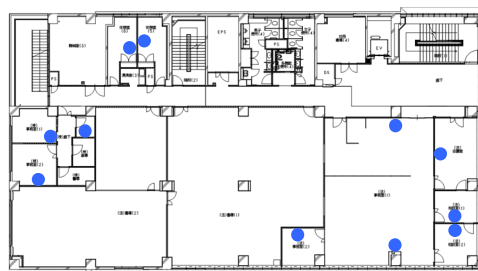
2 階平面図



5 階平面図



1 階平面図




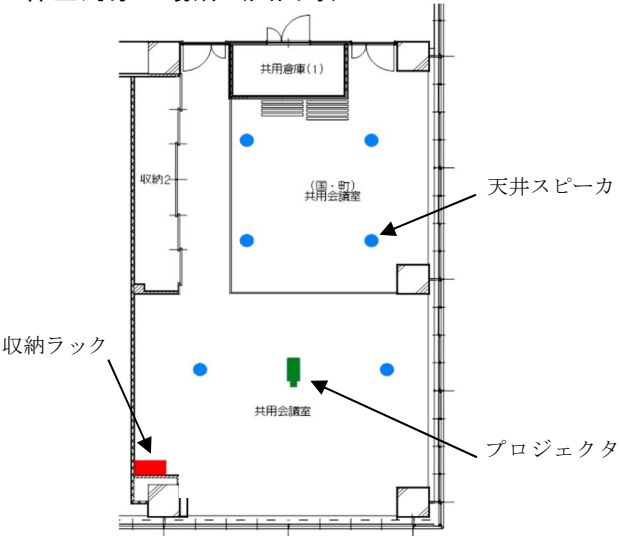
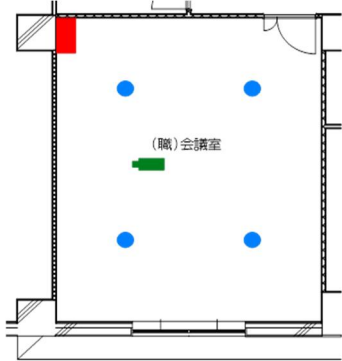
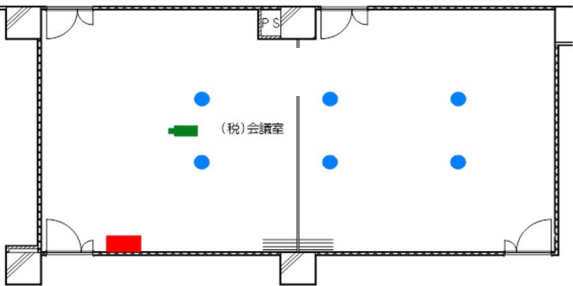
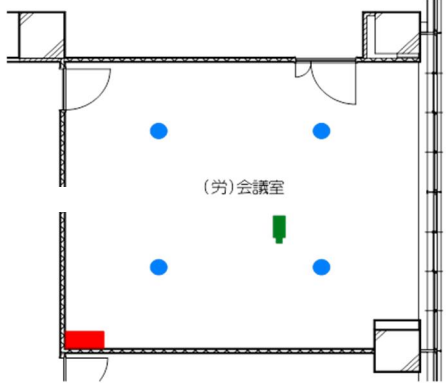


4 階平面図

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-17	映像音響装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 ・ 会議室にプロジェクターやスピーカ等の映像音響装置を設置しています。		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 ・ 第2編第3章3.9.5「映像・音響装置」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。		
③点検等の作業項目及び作業内容 ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第3章3.9.5「映像・音響装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 ・ 画像、画質の点検、調整 → 専門業者に修理を依頼してください。 ・ プロジェクタのランプ切れ → 製造者よりランプを取寄せて交換してください。		
⑤関連図書等 ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書		
⑥清掃周期と清掃方法 ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。）		




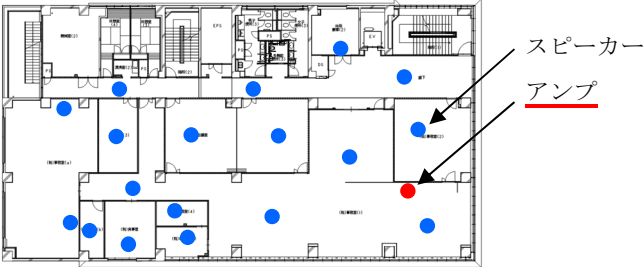
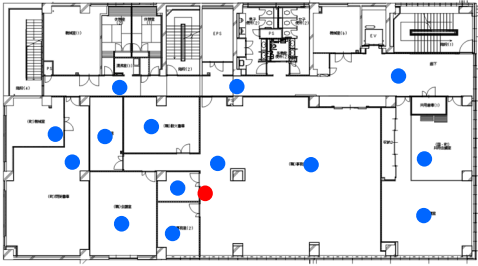

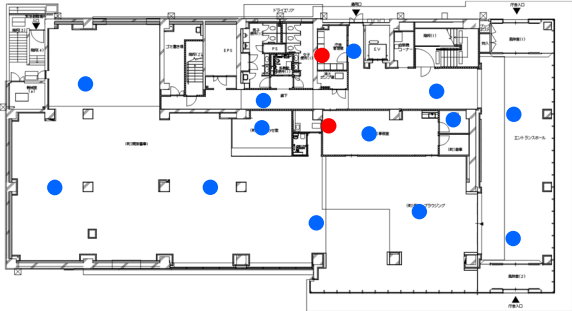
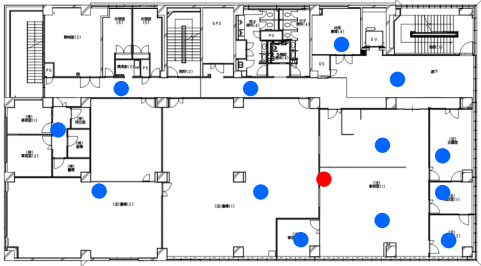
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-17</p>	<p>映像音響装置</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>収納ラック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プロジェクタ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天井スピーカ</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>2階 共用会議室</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2階 会議室</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>3階 会議室</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>5階 会議室</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-18	拡声設備	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・一般放送用のアンプです。 ・庁舎管理室のアンプにより館内放送を行うことができます。 ・各所壁にとりつけられているアッテネータにより音量調節が可能です。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・1回／1年（第2編第3章3.9.3「拡声装置」） ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.3「拡声装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・放送ができない → 専門業者に修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		







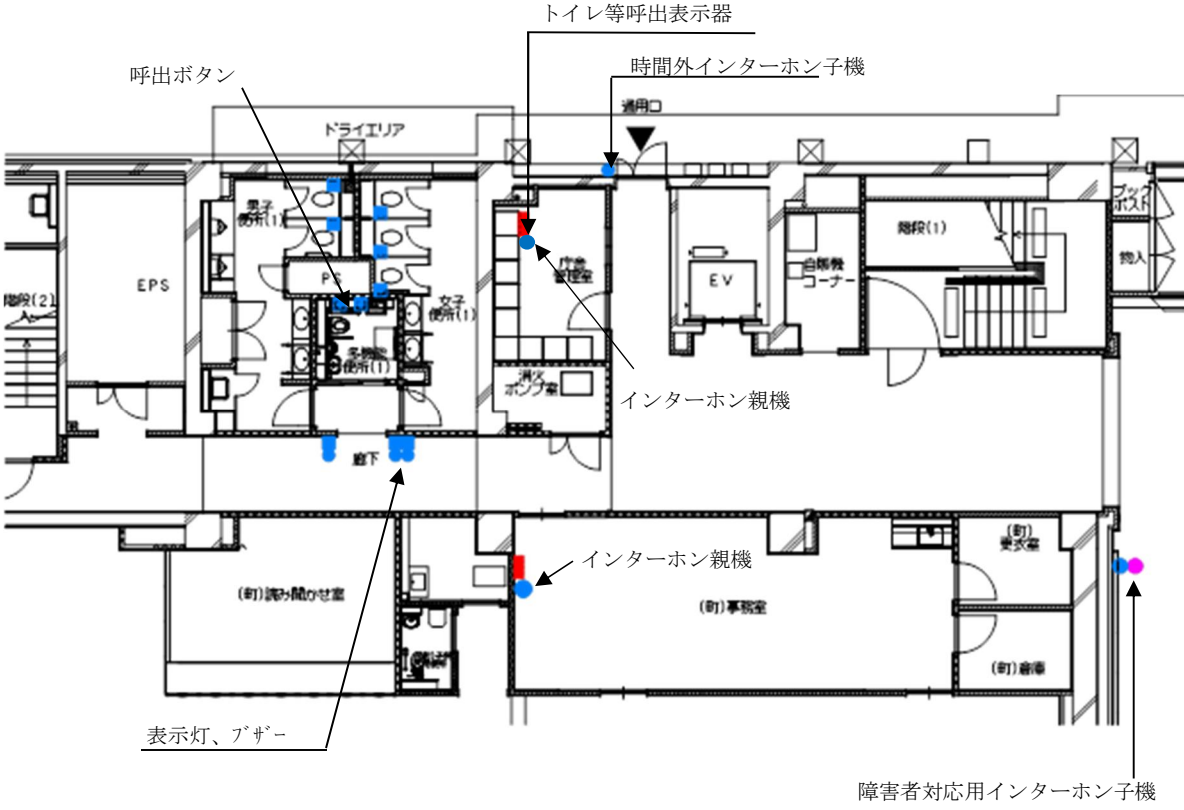
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-18</p>	<p>拡声設備</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>放送アンプ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天井スピーカー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アッテネータ</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>3階平面図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: center;">  <p>2階平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5階平面図</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: center;">  <p>1階平面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4階平面図</p> </div> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-19	誘導支援装置 (トイレ等呼出装置・インターホン装置)	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ呼出ボタンは防水仕様ではありませんので、清掃時に直接水をかけると故障の原因になります。 ・ 時間外出入口に庁舎管理室と連絡できるインターホンを設置しています。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.9.4「誘導支援装置（音声誘導装置、インターホン装置、トイレ等呼出装置）」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.4「誘導支援装置（音声誘導装置、インターホン装置、トイレ等呼出装置）」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 呼出ができない、通話ができない → 専門業者に修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-19	誘導支援装置 (トイレ等呼出装置・インターホン装置)	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>トイレ等呼出表示器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>呼出ボタン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>表示灯・ブザー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>時間外インターホン子機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>インターホン親機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>障害者対応用インターホン子機</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <p>※ 1階平面図を参考図として添付しています。</p>  <p style="text-align: center;">1階平面図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-20	テレビ共同受信設備	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・建物にテレビ電波を受信する目的で設置しています。 ・地上波デジタル放送を受信できます。 ・増幅器は EPS 内端子盤内に設置しています。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 編第 3 章 3.9.7 「テレビ共同受信装置」 ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3.9.7 「テレビ共同受信装置」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビの映りが悪い → テレビの故障を確認し、改善しない場合は専門業者に修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-20</p>	<p>テレビ共同受信設備</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <p style="text-align: center;">UHF アンテナ (地上デジタル用)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="240 499 587 757"> </div> <div data-bbox="628 499 975 757"> </div> <div data-bbox="1016 499 1362 757"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>アンテナ</p> <p>テレビ端子</p> <p>増幅器</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>3 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>R 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>2 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>5 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>1 階平面図</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>4 階平面図</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">アンテナ</p> <p style="text-align: center;">増幅器、分配器 テレビ端子</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-21	監視カメラ装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>① 管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監視カメラは建物〇〇付近、屋外に設置しています。 ・ 録画時間は機器仕様により約〇〇時間です。 		
<p>② 定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.9.9「監視カメラ装置」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③ 点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.9「監視カメラ装置」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④ 不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタ、カメラ等の異常 → 専門業者に修理を依頼してください。 		
<p>⑤ 関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
<p>⑥ 清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-21	監視カメラ装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
----------------	---------	--

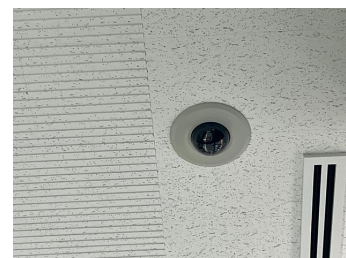
■ 保全対象 (写真)



モニタ

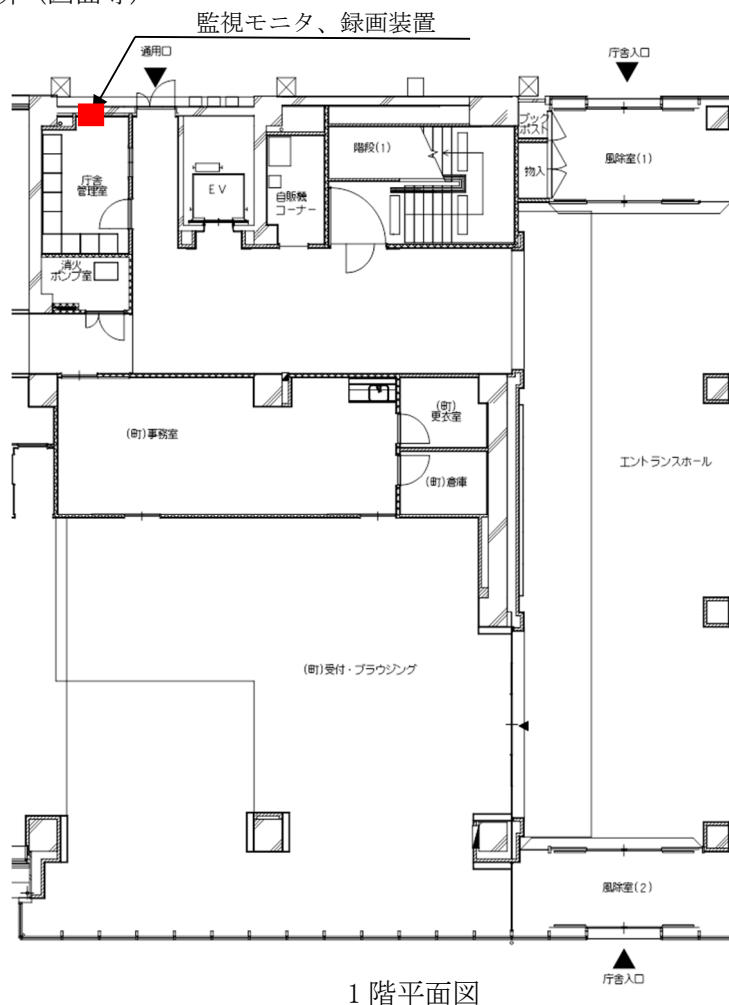


録画装置



監視カメラ

■ 保全対象の場所 (図面等)



* 本作成例では明示していませんが、実際の作成時は監視カメラ設置場所を記載してください。

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-22	防犯・入退出管理装置（機械警備）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項 （防犯設備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別途契約の機械警備の防犯センサーケーブル用に1階～3階窓廻りに防犯用配管を設置しています。 ※防犯装置は各官署で設置されるため、②定期点検周期から⑥清掃周期と清掃方法までについては施設管理者においてご確認ください。 <p>（入退出管理設備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇にテンキーを設置し電気錠の開閉を行っています。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/>法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/>共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章3.9.11「防犯・入退室管理装置」 ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。（第2編第3章3.9.11「防犯・入退室管理装置」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作不良、センサ動作不良 <ul style="list-style-type: none"> → 専門業者等に調査、修理を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・ 機器取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-22</p>	<p>防犯・入退出管理装置（機械警備）</p>	<p>部門 □建築 ■電気 □機械</p>
<p>■保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>防犯センサ用ブランクプレート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>テンキー</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
<p>■保全対象の場所（図面等）</p> <p>* 本作成例では明示していませんが、防犯センサ（ブランクプレート対応）、テンキー、電気錠の設置場所を記載してください。</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-23	自動火災報知装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎管理室に受信機が設置されています。また、庁舎内の居室等の部屋ごとに、火災を感知する感知器が設置されています。 ・ 各階に設置されている機器収納箱の発信機を押すと警報ベルが鳴り、庁舎内の人に火災を知らせるとともに、受信機に火災信号を送ります。 ・ 間仕切りを設ける場合は、未警戒部が発生しないようにしてください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器点検 1 回／6 か月、総合点検 1 回／1 年（平成 16 年 5 月 31 日消防庁告示第 9 号） ・ 確認：1 回／6 か月（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 編第 6 章 6.2.2 「点検・保守」 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法定点検の実施に当たっては、昭和 50 年消防庁告示第 14 号及び平成 14 年消防予第 172 号を参照ください。 <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感知器が発報しない。受信機の応答がない。表示灯が消えている、その他損傷など → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 ・ 消防設備設置届 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

保全対象項目 E-23	自動火災報知装置	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>受信機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>副受信機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>感知器</p> <p>※感知器は、 部屋ごとに設置</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>機器収容箱 (発信機・表示灯・ベル)</p> </div>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p> <p>※自動火災報知設備の受信機、発信機・表示灯等の位置を示す。感知器は各所に設置。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>3階平面図</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ : 自火報受信機 ■ : 副受信機 ● : 機器収容箱 (表示灯、発信器、警報ベル) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p>2階平面図</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>5階平面図</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p>1階平面図</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>4階平面図</p> </div> </div>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-24	自動閉鎖装置（防火戸、防火シャッター用）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連動制御器は、感知器からの火災信号を受け取り、防火戸の電磁リリース等の自動閉鎖装置に作動信号を送り、普段解放されている防火戸を自動的に閉めるようにするものです。 ・連動制御器は、自動火災報知設備の受信機と一体のもの（複合盤）として、庁舎管理室に設置されています。 ・シャッター及び防火戸の周囲に、閉鎖上又は避難上障害になるものがないことを常に確認してください。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検：1回／1年（建基則第6条の2） ・確認：1回／6か月（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第6章6.3.3「防火設備」（a） 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第6章6.3.3「防火設備」（a）） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感知器が発報しない。連動制御器の応答がない。その他損傷など。 → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・防火戸そのものの不具合は、「保全対象項目 1-024 内部建具 自動閉鎖式鋼製防火扉」を参照してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		




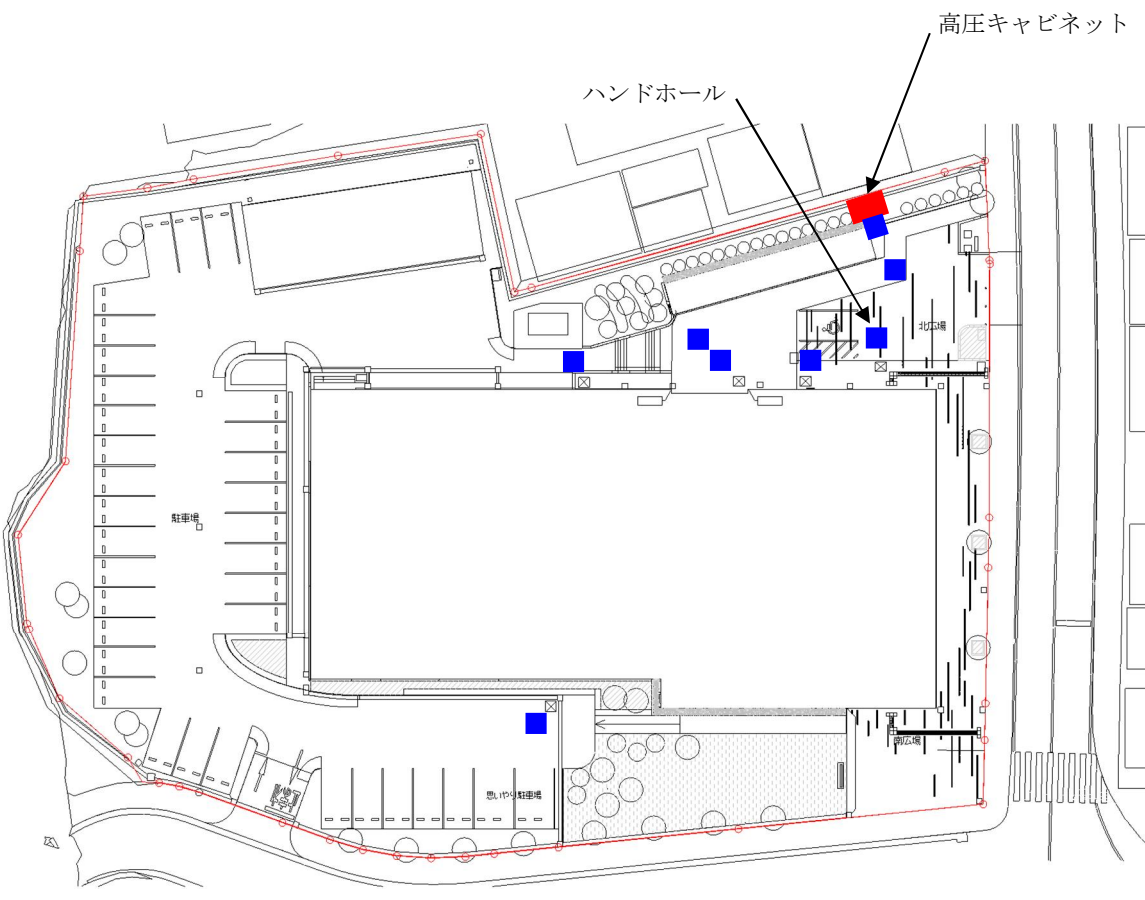
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-24</p>	<p>自動閉鎖装置 (防火戸、防火シャッター用)</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>受信機 (赤色部分が連動制御器の表示)</p>	<p>副受信機 (赤色部分が連動制御器の表示)</p>	
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
	<p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ : 自火報受信機 (連動制御器) ■ : 副受信機 	
<p>3階平面図</p> 		
<p>2階平面図</p> 	<p>5階平面図</p> 	
<p>1階平面図</p>	<p>4階平面図</p>	

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-25	屋外（ハンドホール）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドホールは建物に必要な電力・通信ケーブルを納めています。 ・蓋を開けたまま放置しないでください。落下の危険があります。 ・ケーブルが水に浸からないように、雨水が溜まった場合はバケツ、水中ポンプ等で水をくみ出してください。その際はケーブルを傷付けないよう十分注意してください。 <p>なお、梅雨時期、台風の前後などは特に注意してください。</p>		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・1回／1年（第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」） 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章.13.1「構内配電線路・構内通信線路」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・構造体のひび割れ、蓋の損傷 <ul style="list-style-type: none"> → ハンドホール周辺を立入禁止にするなど安全対策を講じた上、専門業者に修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（附属品その他引渡書による。） 		

2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-25</p>	<p>屋外 (ハンドホール)</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">    </div> <p style="text-align: center;">ハンドホール</p>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>  <p style="text-align: center;">配置図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-26	屋外（接地・地中埋設標）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 接地埋設標の矢印の方向、地中埋設標付近を掘削等する場合は、特に注意を促してください。 ・ 表面の表示が、色あせて見えにくくなる場合がありますので、その場合は取り替えてください。 		
②定期点検等周期 <input type="checkbox"/> 法定点検等周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠落している、表示が消えている → 専門業者に修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（附属品その他引渡書による。） 		

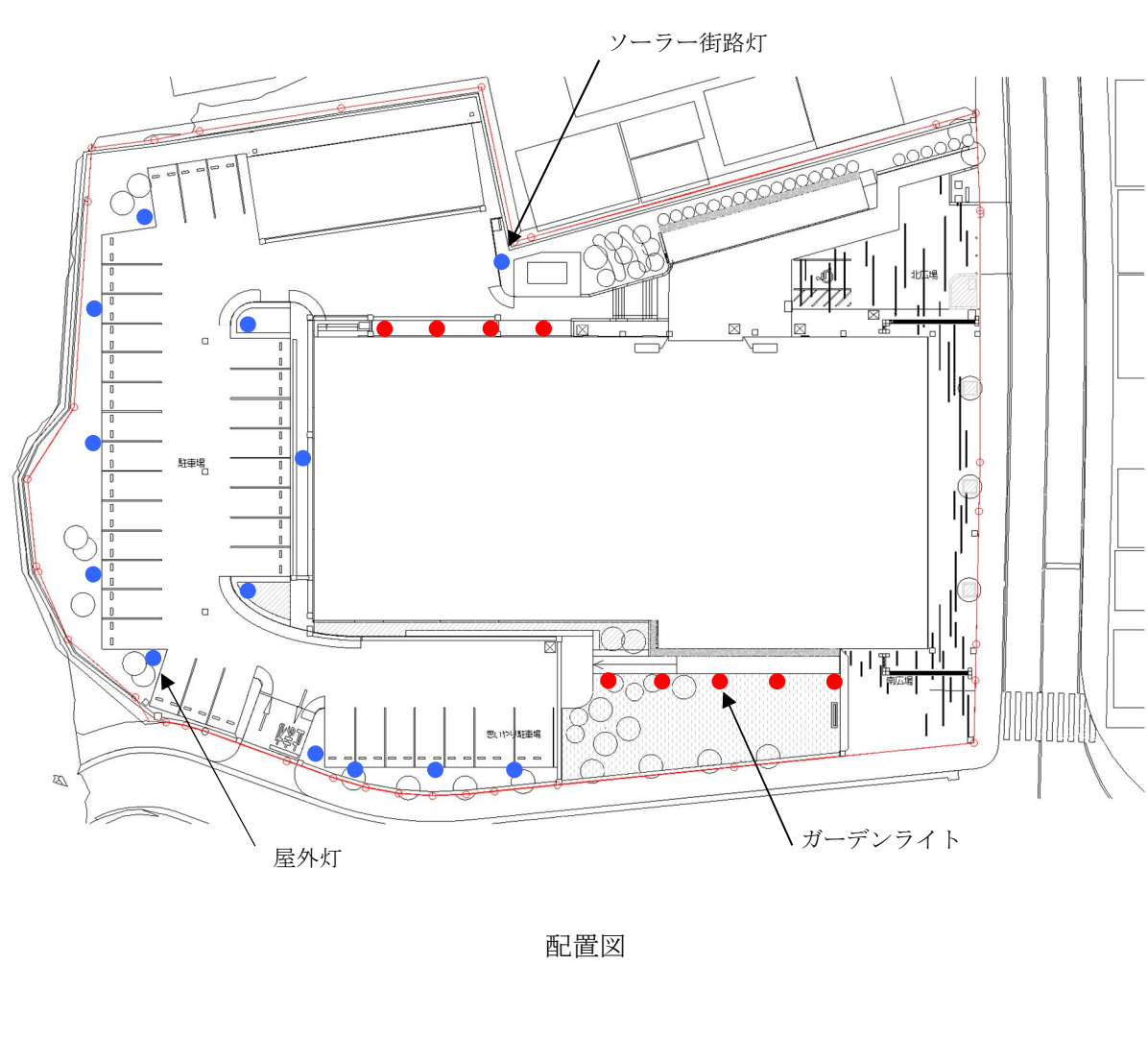
2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-26</p>	<p>屋外（接地・地中埋設標）</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="284 517 448 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>接地極埋設標</p> <p>前方 度 m</p> <p>深さ m</p> <p>令和 年 月</p> <p>接地種別</p> <p>接地抵抗 Ω</p> </div> <div data-bbox="608 533 831 763"> </div> <div data-bbox="858 533 1066 750"> </div> <div data-bbox="1086 510 1366 786"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="284 790 448 824"> <p>接地極埋設標</p> </div> <div data-bbox="871 790 1011 824"> <p>地中埋設標</p> </div> </div>		
<p>■ 保全対象の場所（図面等）</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> <p>(凡例)</p> <p>■ : 地中埋設標</p> <p>■ : 接地埋設標</p> </div> <div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">配置図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-27	屋外（屋外用照明器具）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外照明の点灯消灯は、照明制御盤のプログラムタイマーと自動点滅器により行います。 ・屋外照明の光源には、LED を使用しています。 ・ガラス部分の汚損又は変色により、照度の低下が起きますので注意してください。 		
②定期点検周期 <input type="checkbox"/> 法定点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：なし ・確認：1回／1年（官公法 平成 17 年国土交通省告示第 551 号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和 5 年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 編第 3 章 3.10.1 「外灯」 ・機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和 5 年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第 2 編第 3 章 3.10.1 「外灯」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・点灯しない → 点灯しない場合は、専門業者に調査、修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		



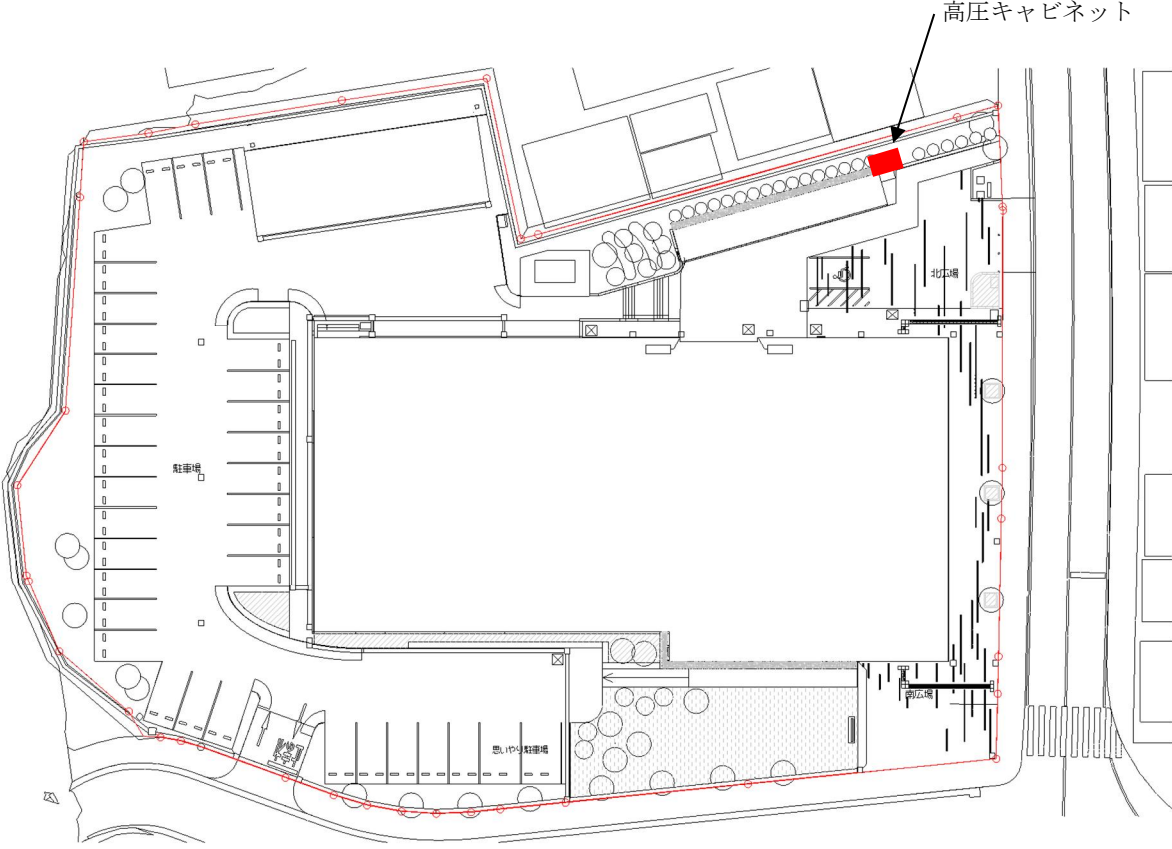
2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-27</p>	<p>屋外 (屋外用照明器具)</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p>		
		
<p>屋外灯</p>	<p>ソーラー街路灯</p>	<p>ガーデンライト</p>
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>		
		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-28	屋外（地中線用引込開閉器（UGS））	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
①管理上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・地中線用負荷開閉器（UGS）は、送電会社と受電側の責任分界点に設置され、周辺に波及する波及事故（停電事故）を防止するために設置される重要な機器です。 ・地絡事故が発生した場合は、電力会社の変電所リレーが動作し、配電線への送電が停止された後、UGS を開放します。（主遮断器の電源側での短絡事故時） ・キャビネット内は、6.6kV の高圧電路が存在し危険なため、施錠してください。 		
②定期点検周期 <input type="checkbox"/> 法定点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・点検：保安規程で点検対象としている場合は、保安規程の点検周期を参照 ・確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期 <ul style="list-style-type: none"> ・第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」で指し示す3.3.7「高圧負荷開閉器」 		
③点検等の作業項目及び作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.13.1「構内配電線路・構内通信線路」で指し示す3.3.7「高圧負荷開閉器」） ※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。		
④不具合と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・損傷、錆など <ul style="list-style-type: none"> → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・開閉器の不動作 <ul style="list-style-type: none"> → 電気主任技術者、専門業者に調査、修理を依頼してください。 		
⑤関連図書等 <ul style="list-style-type: none"> ・完成図 ・機器取扱説明書 		
⑥清掃周期と清掃方法 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		








2) 保全の方法 (作成例 3-2)

<p>保全対象項目 E-28</p>	<p>屋外 (地中線用引込開閉器 (UGS))</p>	<p>部門 □ 建築 ■ 電気 □ 機械</p>
<p>■ 保全対象 (写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">引込開閉器 (UGS)</p>		
<p>■ 保全対象の場所 (図面等)</p>  <p style="text-align: center;">配置図</p>		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

保全対象項目 E-29	屋外（駐車場管制装置）	部門 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 機械
<p>①管理上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来客者専用駐車場と庁舎専用駐車場の出入口にゲート装置を設置し、車両の入出場管理を行う設備です。（料金徴収システムはありません。） ・ 来客者用と荷捌車用の利用状況を「満／空」表示にて表示します。（LEDユニット） ・ 来客者専用駐車場は駐車券処理装置で当日処理された駐車券でないと出場できません。 ・ ゲートバーが損傷（突破で折られる）した場合は、バーを交換してください。 ・ 発券機内部の駐車券残り枚数が少なくなった場合は補充してください。（駐車場管制盤にアラーム発報します。） ・ 出庫口、場内車両合流部等に回転灯、ブザー、信号灯を設け注意を促します。 		
<p>②定期点検等周期</p> <p><input type="checkbox"/> 法定点検等周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点検：なし ・ 確認：1回／1年（官公法 平成17年国土交通省告示第551号に基づく実施要領） <p><input type="checkbox"/> 共通仕様書（令和5年版）等に規定された点検周期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2編第3章3.9.10「駐車場管制装置」 ・ 機器取扱説明書等を参考に実施してください。 		
<p>③点検等の作業項目及び作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通仕様書（令和5年版）の作業項目、作業内容を参照ください。 （第2編第3章3.9.10「駐車場管制装置」） <p>※なお、法定点検等に係る項目は、最新の法令に適合しているか、点検業者等に確認して実施してください。</p>		
<p>④不具合と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場管制設備のアラーム（発券機トラブル、券切れ、カードリーダートラブル）を中央監視室の駐車場管制盤にモニタ表示します。 ・ 機器の損傷や動作異常が生じた場合は、専門業者に調査、修理を依頼してください。 ・ 駐車場管制盤の動作不良 → 専門業者に調査、修理を依頼してください。 		
<p>⑤関連図書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図 ・ 機器取扱説明書 		
<p>⑥清掃周期と清掃方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜（機器取扱説明書等を参考に実施してください。） 		

2) 保全の方法（作成例 3-2）

<p>保全対象項目 E-29</p>	<p>屋外（駐車場管制装置）</p>	<p>部門 □建築 ■電気 □機械</p>
<p>■保全対象（写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; text-align: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>券機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カードリーダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カーゲート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>制御部 (EPS 内設置)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>タッチパネル部 (中央監視室内設置)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駐車場管制盤</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駐車券処理装置</p> </div> </div>		
<p>■保全対象の場所（図面等）</p> <p>* 本作成例では明示していませんが、配置図等に券機、カードリーダー、カーゲート等の設置場所を記載してください。</p>		